

営農・資材ニュース

JAならけん

たい肥を使った土づくりでおいしい農産物を！！

「たい肥施用」は、「土壌に有機物を供給して、土づくりをする」ことを目的とします。

土壌に有機物を供給すると、土の粒子が結びついた団粒構造が発達し、作物の根が伸びやすい、軟らかな土になります。また様々な成分を保持する力が向上し、肥料の効果等が緩やかになりますので、作物の根を守る機能も発揮します。また、有機物の分解により窒素等の成分が植物に肥料として供給されます。

利用目的に合った「たい肥」選びを！



牛ふん たい肥

牛ふんたい肥の窒素含有率は、1%前後と低くその分解が遅いことから、肥料成分の供給はあまり期待できませんが、土づくり（物理性改善）の効果に優れています。肥料成分としてはカリが比較的多いのが特徴です。



鶏ふん たい肥

鶏ふんたい肥は、肥料分量が高く（窒素含有率3%前後）、土壌中での分解が早いので、そのまま有機質肥料として扱えます。リン酸が多いのが特徴ですが、採卵鶏のものは石灰が多いのも特徴です。木質系の副資材の混合が少ないものは、非常に急速に分解されます。急速な分解は発熱や有害ガスの発生を伴うことが多く、作物に障害を与えますので、施用量に注意しましょう。

たい肥施用量のめやす (t/10a)

	水 稲	イチゴ	トマト ナス	ハウレン ソウ	キャベツ	カキ ウメ	茶
露地	0.5-2	-	1-3	1-2	1-3	1-2	1-2
施設	-	1-2	1-2	1-2	-	-	-

たい肥が含む窒素・リン酸・カリ量の試算について

施用1年目に分解するたい肥中の窒素は、牛ふん・豚ふんたい肥で10～40%、鶏ふん堆肥で20～60%と考えられています（同じ畜種のたい肥でも窒素含有率が高いほど窒素分解率は高い）。すなわち窒素1%の牛ふん堆肥1トンが含む窒素は10kgですが、1年目に植物が利用できる窒素は1～4kg程度ということになります。リン酸とカリは、どの畜種のたい肥も80～90%が1年目に利用でき、肥効は速効性です。

良質たい肥の見極め方

色は完熟になるほど黒っぽくなっていきます。未熟なたい肥は、アンモニア臭や悪臭がするものがありますので、このようなたい肥は更に熟成させてから使いましょう。

オガクズや稲わらのような副資材が入ったたい肥は、副資材が指で簡単につぶれる場合を完熟と判断します。また、たい肥を混ぜた土（2～3g/土100g）をポットに入れコマツナなど生育の早い植物を実際に植えてみて生育を確認するのもよいでしょう。



「雑草対策はJAで!!」 キャンペーン

～4月1日からはじまります～

お困りの雑草対策に刈払機・除草剤・噴霧器など特別価格で

JAならけんオリジナル 高性能で低価格を実現!!
300台限定 3月1日～予約受付!



刈 払 機

軽量で扱いやすく低振動で体への負担を軽減。さらに低価格を実現しました。また今回、デビュー記念として特典を準備。
(台数に限定がありますのでお早めにお申込ください。)

特典① 早期予約記念として3月1日から31日までにお申込の方にはチップソーを1枚プレゼント



特典② 4月1日から6月30日までにお申込の方には、混合燃料(劣化防止剤入り)2Lをプレゼント

3月中にご予約いただくとチップソーと混合燃料のWプレゼント!!

被覆するだけで除草できます。

防 草 シ ー ト

除草剤散布や草刈りができない場所に被覆するだけで除草できます。おすすめ2商品をキャンペーン特別価格で提供します。

○ アグリシート

高密度で高い遮光性により防草効果を発揮します。

○ 雑草抑制おまかせネット

草刈りができない、除草剤を散布できない。広範囲箇所に最適な商品です。

春めいてくるこれからの季節は、雑草対策の準備を始める時期です。農作業の中でも大きなウエイトを占める雑草対策。他にも庭先や駐車場など雑草対策の悩みはつきません。

そこで「雑草対策はJAで!」を合言葉に雑草対策に欠かせない刈払機(JAならけんオリジナル仕様)、除草剤、噴霧器など取り揃えキャンペーンを展開します。

除草剤とセットでどうぞ!

除 草 剤 & 噴 霧 器

除草剤は大型規格商品を充実、農業資材コスト低減を提案しています。

○ ラウンドアップマックスロード

根まで枯らし、じっくり長く効きます。

○ ザクザ

200倍でスギナに安定した効果です。草にも強く雨にも強いです。

○ パスタ

水田畦畔におすすめです。



噴霧器はキャンペーン期間中お買い上げいただいた方にオリジナルキャップを進呈(8月31日申込まで)します。

ぜひ除草剤とセットでご利用ください。



オリジナルキャッププレゼント!

※写真はイメージです

お問い合わせは、お近くのJAならけん営農経済センターへ

発行：本店 営農振興部営農推進課 経済部農業資材課

